

別子銅山の歴史と産業遺産

2014年5月24日(土)10:00~11:30

別子銅山記念図書館 専門員 坪井利一郎

1. はじめに

テキスト・別子銅山を使って、別子銅山の歴史と産業遺産について説明する。このテキストは、愛媛県東予地方局に依頼されて高校生用の基礎テキストとして、2012年10月に書き上げたものである。

テキストは1992年に都市計画全国大会が松山市で開催されたときに、開催県の紹介として書いた「あかがねの里・別子銅山の歴史」(新都市第46巻11月号)をベースにして、2011年に松山市で開催の「別子銅山から紐解く地域交流パネル展」のパネルのキャプションの内容を書き加えた。「あかがねの里・別子銅山の歴史」は、それまで別子銅山の通史がなかったので、読みやすい内容とボリュームとした。「別子銅山から紐解く地域交流パネル展」は、新居浜市外で初めての展示会であり、これまでのライフワークとしての取り組みから、県民に別子銅山の歴史とその産業遺産が分かりやすく理解できる内容とした。参考文献として、必須の文献62点を掲載したが、手元の文献・資料は622点である。

2013年10月、解散する財団法人自彊舎記念会の記念事業として、別子銅山について広く知ってもらうために印刷された。

2. テキストの構成

表紙	別子鉱山図
はじめに	個々に歴史がある
目次	
産業遺産位置図	銅の道・海の道・炭の道
別子銅山と産業遺産	別子産業遺産のロマン
別子銅山関連の周辺の鉱山	弓削の石灰山 関前の石灰山 西条市の西の川銅山・基安銅山 四国中央市の佐々連銅山
別子銅山の歴史	通史
参考文献	62点

3. 新居浜を知る

新居浜市で働くには、新居浜市を知らないといけない。新居浜市役所に就職して考えたことは、歴史を知る、地域を知るであった。

① 歴史を知る

現在の工業都市を形成した別子銅山の歴史は必須である

② 地域を知る

市内の道路を知り尽くす。初めての道路を通ると、次には逆コースで通る。

通ることで地区内の位置関係が分かってくる。

町中から山中へと広げる。旧別子登山で町の原点を見付ける。

時間をかける。 とりあえず別子銅山関係の本を読む。150冊。1週間に1冊のペースで3年。3年かけたら別子銅山の精通者になれる。参考図書に上げたのは62冊だけど、必読本は30冊である。1年で概要は把握できる。

産業遺産の足跡を踏査するなら、教育映画のロケ、CATVの広報番組作りの経験からして5日あれば回れる。別子銅山記念館等の学習施設を見学するのを加えても1週間で十分である。

関心事項が**分かったと思えるのは**、茶の湯の経験からして、図書、資料の保持数500点が境界のようである。茶の湯関係の本が600冊、その内で禅語の本が30冊余りある。禅語も解説者によって表現が微妙に異なる。神田神保町の風月洞に買う本は無かった。

読書力を身に付ける。早く読む、知識や情報を的確にとらえるには、メリハリのある読み方をする。とりあえず記憶しているだけだと試験の点数は取れる。読書力がないと、その後の勉強や仕事はかどらない。大学にとりあえず入学したというタイプ。市役所でも刻一刻と社会が変化しているので、対応が求められる。対応力の元は情報力である。地に足がついた対応には、基本として新居浜市が分かっていないといけない。知っているつもりでも知らないのが、落とし穴である。

読書力が技となるポイントは、文庫本100冊+新書本50冊。生活者の源泉は、専門家が分かりやすくまとめてくれている新書本になる。新書本1048冊が、教養の源となる。

4. おわりに

地域の先人が数多くの本を残してくれたので、ライフワークを見付けることが出来たが、経験として、いつでも手元に別子銅山のガイド本が必要であると思い続けた。

新しい情報に基づき、本になる間際まで添削を重ねた。最後に読んだ住友の歴史・上巻には、最新の解説が掲載されていて、1次史料が使えない者にとっては、下巻が今年の夏に出版されるのが楽しみである。

別子銅山を訪ねて、大学生が、外国人が新居浜に来ている。世界的な鉱山であった別子銅山は、存在場所はローカルだけど、存在意義はグローバルである。

別子銅山の書籍と遺産の取組み

2014.5.24 坪井利一郎

61.	S.36.11	こいはま史跡と名勝(合田)	
67.	S42		南部観光開発構想
73.	S48	明治の別子(伊藤)	別子銅山休山
74.	S49	別子物語(朝日新聞)	
		別子銅山(合田)	
75.	S50		別子銅山記念館開設
86.	S61		銅(憧)景のまちづくり・生涯技術ふれ あいタウン報告書(新居浜 JC)
87.	S62	銅の里ー旧別子銅山遺跡探訪	
88.	S63		ポケットパーク整備野外彫刻
90.	H2	別子銅山物語(芥川)	別子銅山開坑三百年祭 住友化学歴史資料館開設
91.	H3	住友別子鉱山史	マイントピア別子・端出場地区開設
92.	H4	あかがねの里ー別子銅山の歴史(坪井)	
94.	H6		銅夢物語・新居浜市民会議発足
96.	H8	歓喜の鉱山(高橋)	
97.	H9		施政運営方針「先人の偉業に学ぶ近代 産業遺産のロマンの息づくまちづくり」 広瀬歴史記念館開設
98.	H10		
99.	H11	未来への鉱脈(長井)	南高等学校がホームページでNHK会長賞 ボランティアガイド開始
00.	H12		近代化産業遺産全国フォーラム
03.	H15	広瀬幸平小伝	広瀬幸平の銅像復元 新居浜市と別子山村が合併 広瀬邸が重要文化財
04.	H16	目論見書全訳	産業遺産活用室を設置
07.	H19	未来への鉱脈の再版	別子銅山文化遺産課設置
08.	H20		新居浜市あかがね基金
11.	H23		別子銅山松山展(東予地方局)
12.	H24		別子銅山尾道展(東予地方局)
13.	H25	別子銅山(坪井)	別子銅山大阪展(東予地方局)
14.	H26		別子銅山東京展(東予地方局)